

## ■ 志津のお宝発見！地域と作る私たちの学校（志津小学校）

### 1 【活動の趣旨】

総合的な学習の時間での支援に関わって、こどもたちが地域に愛情を持ち、将来地域のために活動できるように、どのような学習をプログラムしていけばよいか学校運営協議会で熟議した。志津のお宝は「自然」と「歴史」であることを確認し、それらをもとに系統的な学習を仕組み、学習したことをこども環境会議などで地域に発信していくこととなった。

### 2 【特徴的な活動内容】

○「志津っ子エコマスターを目指そう！」

4年生では、地域の方から話を聞き、ごみ調査や環境アンケート、廃油を使ったキャンドル作り、木の端材を使った看板作り、使わない服や牛乳パックを使ったそうじ道具作りなどの体験をした。学んだことを他

学年や保護者に発信する「志津っ子エコ祭り」を設け、こどもたちと地域の「人」「企業」「施設」など様々なつながりを持つことができた。



【地域の方の話】

○「食の環 smile プロジェクト：食を通して笑顔が増える取り組みを発信！」

5年生では、給食の残食調べをきっかけに、身の回りのフードロスという課題に目を向け、「給食の献立づくり」に取り組んだ。また、地域の飲食店と連携し、こどもが考えたプレートをお店で提供する活動を仕組んだ。こどもたちは積極的に食に関心を持ち、地域や人とのかかわりを持つことができた。



【栄養士さんの話】

### 3 【実施に当たっての工夫】

保護者だけでなく地域の方にも発信することで、自分たちの地域を意識して守っていこうとする意欲を高めることができた。

こどもたちが課題をつかむきっかけとして、地域の方による講話や、体験活動、アンケート調査や校外学習などをうまく仕組むことで、学んだことからさらに課題を見つけ、解決に向けて学習を進められるようにした。

### 4 【事業の成果】

4年生が学んだことをもとに、端材で作った看板を地域の施設に配ることで、より地域に対して愛着を持つことができ、ごみを減らすために自分たちにできることを考えようという意欲を高めることができた。

### 5 【事業の今後の展望】

今後も、地域コーディネーターと連携を密にして、さまざまな内容で関わってくださる地域の方を発掘し、こどもたちのよりよい学びの場にしていき、発信の場を学校や保護者だけでなく、地域にも増やしていくことで、地域とともに学校づくりに取り組んでいきたい。